

高校生地域医療バスツアー実施要項案

千葉大学 大学院医学研究院 医学教育学

伊藤彰一

千葉大学 大学院医学研究院 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座

村山愛、荒木信之、尾崎尚人、鋪野紀好

【企画運営】

- ・ 千葉大学千葉県寄附講座地域医療教育学
- ・ 千葉県健康福祉部医療整備課
- ・ NPO 法人千葉医師研修支援ネットワーク

【背景】

千葉県では医師の地域偏在対策として医師修学資金貸付制度を整備し、医学部を目指す高校生に制度説明の機会を設けている。一方、制度利用を検討する高校生は、地域医療の実際や地域で医師として働く姿を具体的にイメージしにくい。そこで、地域医療と将来のキャリアへの理解を深める「高校生地域医療バスツアー」を企画する。

【目的】

参加高校生が、地域の暮らし・文化、地域医療、地域で医師として働くことを体験的に学び、医師修学資金貸付制度と自らの将来のキャリアを結び付けて考えられるようにする。あわせて地域志向性を高め、将来の千葉県の地域医療を担う人材の育成につなげる。

【方法】

日 程：2026 年 12 月 25 日（金） 移動手段：貸切バス

参加費：無料

参加者：応募時に高校在学中の者 10 名（保護者同伴なし）

協力者：千葉県医師修学資金貸付制度利用中の医学生 5 名、医学教育学・地域医療教育学の教員 5 名程度

場所と滞在予定時間：

訪問先	所在地	滞在予定時間（予定）
①大多和医院	白子町	11 時～13 時 00 分頃
②昼食	九十九里町	13 時～14 時頃
③さんむ医療センター	山武市	14 時 30 分～16 時 30 分頃

診療所と病院を巡り、地域住民が診療所受診から病院紹介・治療を経て地域へ戻るまでの医療の流れを学ぶ。

行 程：

- 1) 移動中に、各地域のガイダンス（個人情報の取扱いを含む）やクイズ、医学生・医師・教員との交流を通じて地域を知る。
- 2) 各医療機関を約 120 分見学する。院内では 4～5 名程度（医学生・教員を含む）のグループに分かれ、見学・議論を行う。
- 3) 道の駅や地元飲食店で昼食をとり、地元の食材や商品に触れることを通じて、地域への理解を深める。
- 4) 医療機関の一室またはバス内で、見学・交流を振り返る。

以上